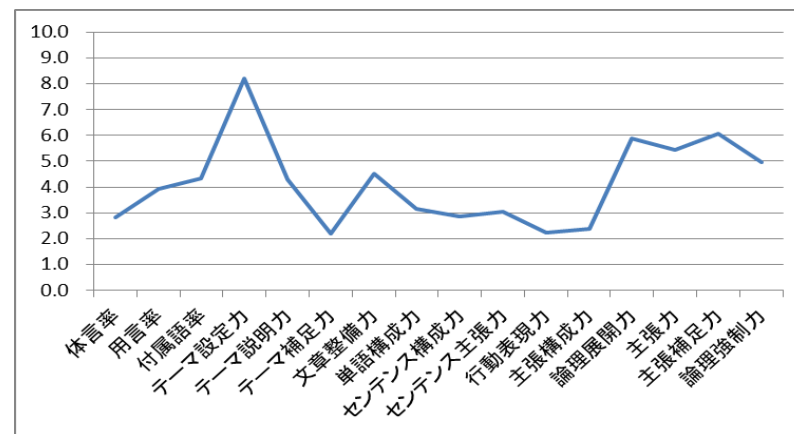
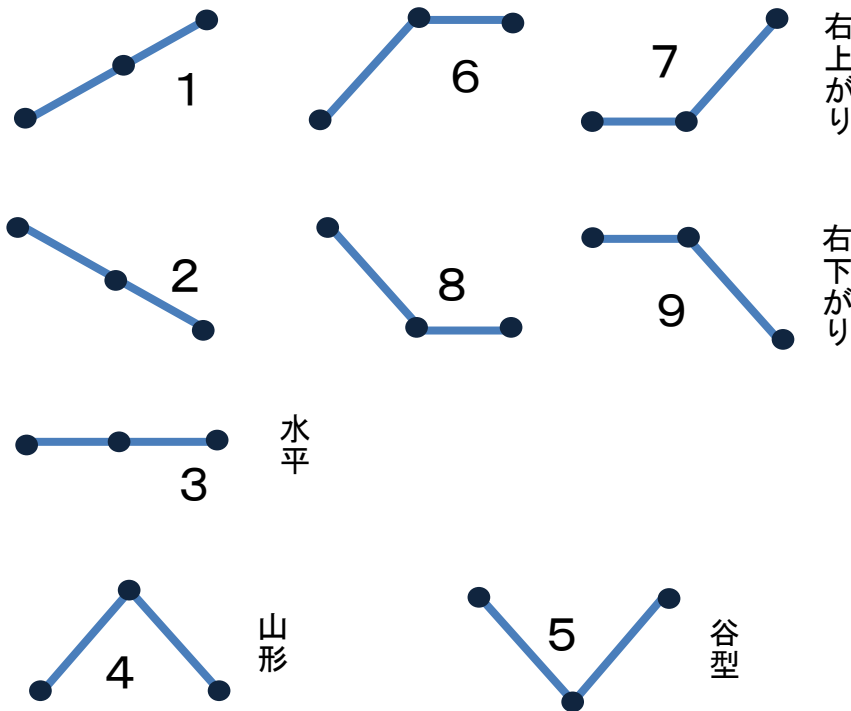


グラフ形状コード

	第1ブロック			第2ブロック			第3ブロック		第4ブロック			第5ブロック		第6ブロック		
	体言率	用言率	付属語率	テーマ設定力	テーマ説明力	テーマ補足力	文章整備力	単語構成力	センテンス構成力	センテンス主張力	行動表現力	主張構成力	論理展開力	主張力	主張補足力	論理強制力
分析値	2.8	3.9	4.3	8.2	4.3	2.2	4.5	3.2	2.9	3.0	2.2	2.4	5.9	5.5	6.1	5.0
隣形状		1	1	1	2	2	1	2	2	3	2	3	1	2	1	2
項目形状			1			2		2			9		1			4



16分析値を折れ線グラフに表すと上グラフになる。
 16分析値は、計算方法によって6ブロックに分類されている。前の3ブロックのグラフ形状は人によって固定されやすい。後3ブロックはテーマの習熟性、主張への期待レベルによって変化する。だが、共に個人の特徴を表すのは変わらない。
 グラフ形状を数値に置き換えたのが形状コードである。コードの種類は左例のように9種類ある。グラフ形状と分析値で(折れ線の角度)で表現形態、思考形態を表す。個人の形状変化は、知識変化、心情変化があった時に現れる。